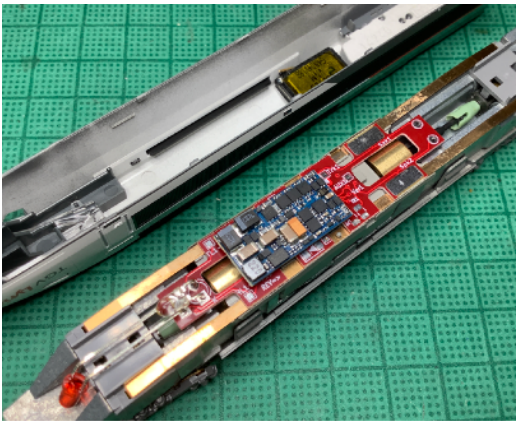


● 概要

EC-タイプTは、KATO TGVシリーズに特化したNEXT18規格用 ExpBoardです。これを使えばDCC化や、DCCサウンド対応がより簡単にできます。なお、NEM651対応前の車両でも本基板でDCC化が可能です。

ご注意：

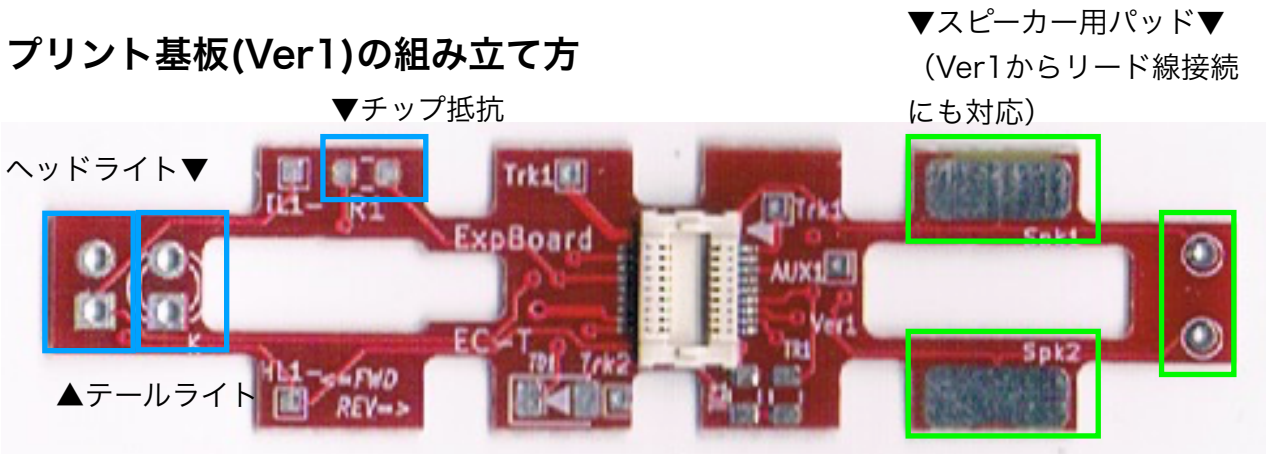
右の写真は、KATO 10-1325 TGV リリア10両セットに搭載した事例写真です。レゾにおいては屋根裏のカットなどが必要になります。



● 仕様

外形	53mm×14mm×0.6mm（プリント基板本体のみ、電子部品を除く）
DCC入力	19Vmax（DCCデコーダの電源電圧範囲を超えない範囲でお使いください）
モータ出力	最大500mA（利用されるデコーダの最大電流以下でお使いください）
ヘッドライト/ テールライト	基板上にLED用パッドが準備されています。純正基板のLEDを移設することも可能です。
室内灯	なし

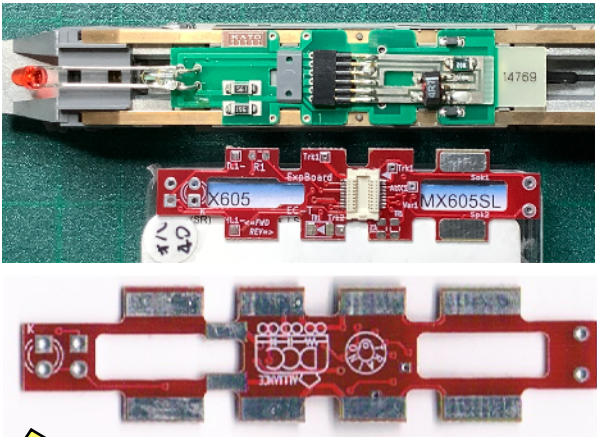
● プリント基板(Ver1)の組み立て方



- (1) R1にLED用の抵抗（推奨 680Ω/2012サイズ）をはんだ付けしてください。
- (2) テールライト用LED(赤)を、搭載する製品に合わせてはんだ付けしてください。

注意：LED極性は、下側がカソード（角ランド側）です。また、LEDの下側（床側）のリードはなるべく短くカットしてください。長すぎるとボディが浮き上がる可能性があります。

(3) ヘッドライト用LED(白もしくは電球色)を、リードを短く曲げてはんだ付けしてください。

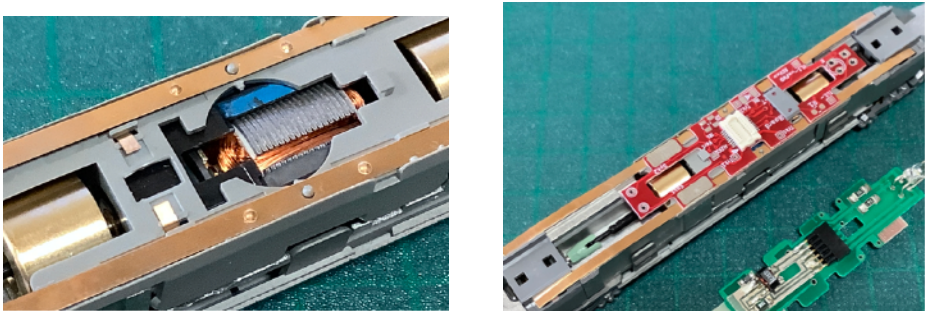


なるべくリード線を短くカット

● 車体への取り付け方法

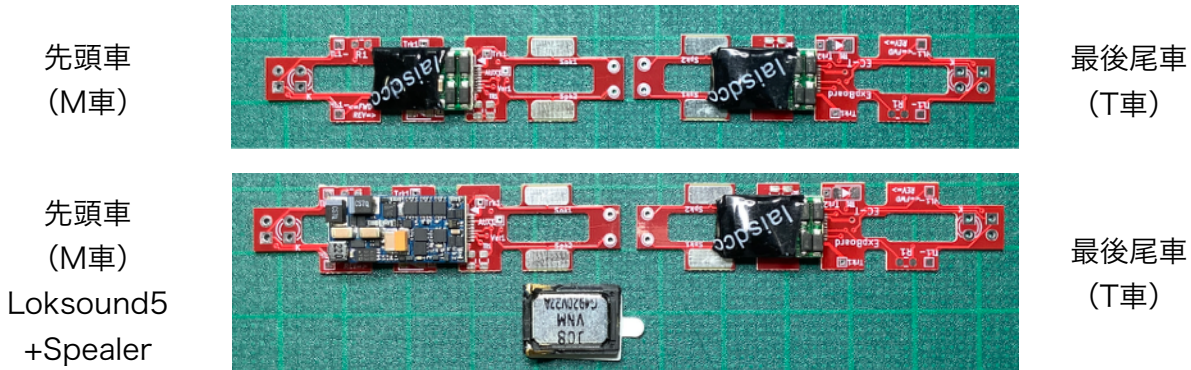
車両のマニュアルに従って。ボディを外してください。

モーター押さえパーツの間に爪楊枝を差し込み引き抜きます。このときに、モーター端子が集電版の内側にセット されていることを確認してください。



● デコーダの取り付け

先頭車（M車）車端側に本体が来るようにさしこみます。最後尾車（T車）も連結状態でM車と同じ向きにデコーダ をセット してください。



● 車体の取り付け

ボディを戻す前に必ず走行試験をしてください。また、スピーカーにエンクロージャをとりつけ、基板のスピーカーパッドに当ててサウンドが再生することを確認します。なお、エンクロージャの選定および構造は車体に合わせて検討ください。写真はnagoden頒布品で、1mm厚15mm 11mmのプラ板でも効果があることを確認済みです。

最後にボディにスピーカーを取り付けて、元に戻します。ボディ下部に隙間が残る場合には、デコーダの保護フィルムを剥がしたり、当たる部分をカットするなどの追加加工を行ってください。

注意事項：

<https://desktopstation.net/wiki/doku.php/expboardecn>を参照願います。

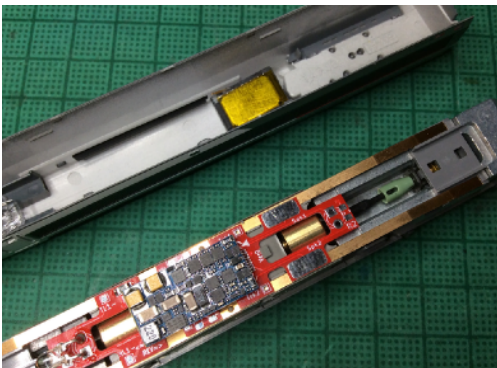
何か商品にお気づきの点がございましたら、traino@desktopstation.net にご連絡をお願いします。 2020-9-12 改番1

● 概要

EC-タイプTは、KATO TGVシリーズに特化したNEXT18規格用 ExpBoardです。これを使えばDCC化や、DCCサウンド対応がより簡単にできます。なお、NEM651対応前の車両でも本基板でDCC化が可能です。

ご注意：

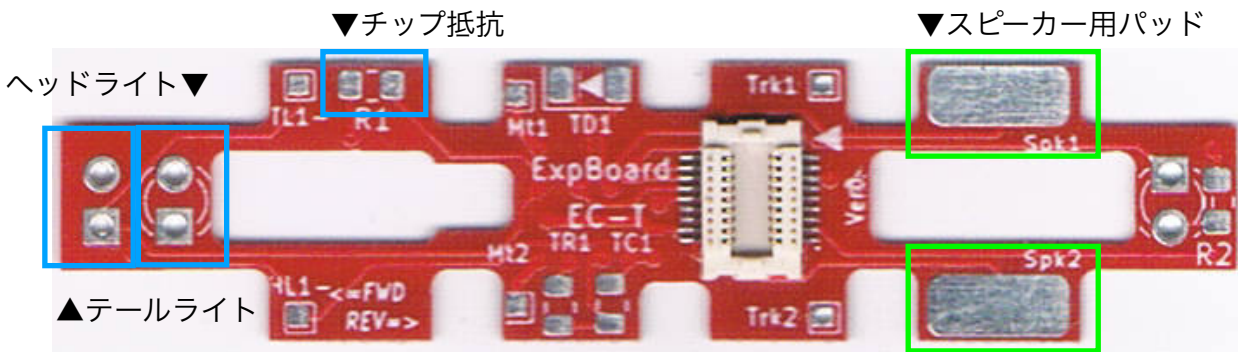
右の写真は、KATO 10-1325 TGV リリア10両セットに搭載した事例写真です。レゾにおいては屋根裏のカットなどが必要になります。



● 仕様

外形	53mm×14mm×0.6mm（プリント基板本体のみ、電子部品を除く）
DCC入力	19Vmax（DCCデコーダの電源電圧範囲を超えない範囲でお使いください）
モータ出力	最大500mA（利用されるデコーダの最大電流以下でお使いください）
ヘッドライト/ テールライト	基板上にLED用パッドが準備されています。純正基板のLEDを移設することも可能です。
室内灯	なし

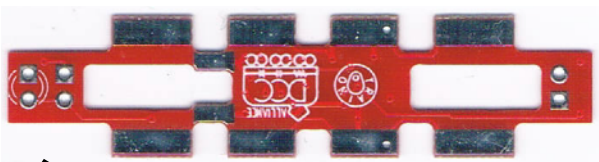
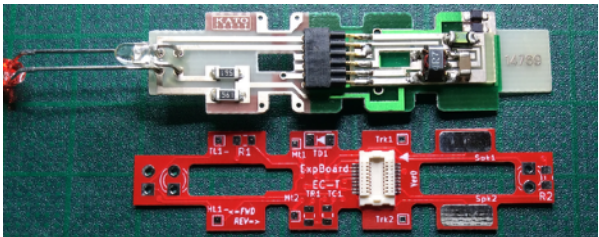
● プリント基板の組み立て方



- (1) R1にLED用の抵抗（推奨 680Ω/2012サイズ）をはんだ付けしてください。
- (2) テールライト用LED(赤)を、搭載する製品に合わせてはんだ付けしてください。

注意：LED極性は、下側がカソード（角ランド側）です。また、LEDの下側（床側）のリードはなるべく短くカットしてください。長すぎるとボディが浮き上がる可能性があります。

- (3) ヘッドライト用LED(白もしくは電球色)を、リードを短く曲げてはんだ付けしてください。

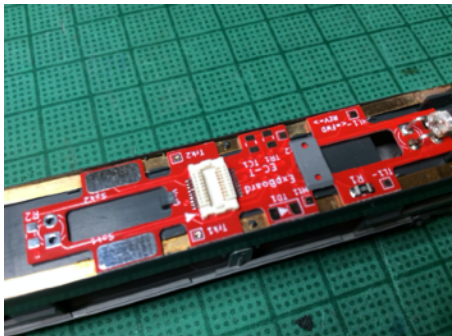


なるべくリード線を短くカット

● 車体への取り付け方法

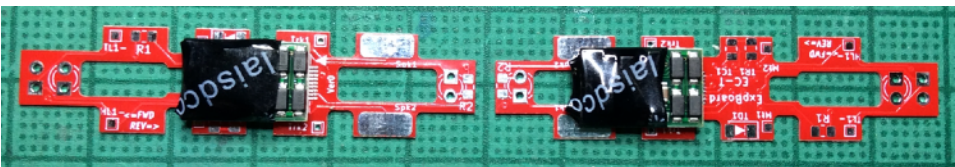
車両のマニュアルに従って。ボディを外してください。

モーター押さえパーツの間に爪楊枝を差し込み引き抜き、プリント基板を交換します。



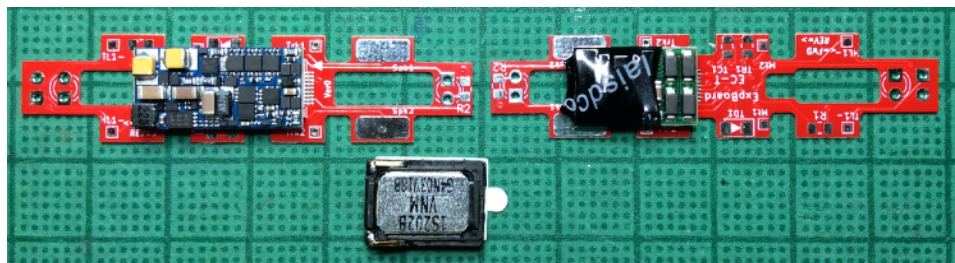
● デコーダの取り付け

先頭車（M車）車端側に本体が来るようにさしこみます。最後尾車（T車）は逆に本体が連結側に向けてください。



先頭車
(M車)

最後尾車
(T車)



先頭車（M車）
Loksound+Spealer

最後尾車
(T車)

● 車体の取り付け

ボディを戻す前に必ず走行試験をしてください。また、スピーカーにエンクロージャをとりつけ、基板のスピーカーパッドに当ててサウンドが再生することを確認します。なお、エンクロージャの選定および構造は車体に合わせて検討ください。写真はnagoden頒布品で、1mm厚15mm 11mmのプラ板でも効果があることを確認済みです。

最後にボディにスピーカーを取り付けて、元に戻します。ボディ下部に隙間が残る場合には、デコーダの保護フィルムを剥がしたり、当たる部分をカットするなどの追加加工を行ってください。

注意事項：

<https://desktopstation.net/wiki/doku.php/expboardecn>を参照願います。

何か商品にお気づきの点がございましたら、

traino@desktopstation.net にご連絡をお願いします。

2020-7-5 改番0